



《東京都中学校長会》

平成30年3月

3月会長だより

会長 岩永 章

1 挨拶

今年度もいよいよ最後の月となり、現役員で東京都中学校長会を運営するのも、あとわずかな期間となりました。総会まで気を抜くことなく、本会の運営にあたってまいりたいと思います。学校では都立高校の合格発表があり、次善の策を講じなければならない生徒も見受けられるのではないかと思います。すべての生徒たちの進路が無事に決まることを願っています。今年度の都立高校入学者選抜では、受験資格の緩和やインフルエンザ等に対する追検査が導入されるなど、近年にない変更がなされました。この変更点の影響等については、本会としても経過を見守る必要があろうかと考えています。また、各校では、卒業式に向けた指導や準備を進めながら、入学予定者数の確認など次年度に向けた体制づくりを慎重に進めておられると思います。本会でも、次年度の組織づくりが皆様のご理解とご協力により、順調に進んでいるところです。次年度も引き続きご協力いただく役員の皆様方に心よりお礼申し上げます。

さて、今年度をもってご勇退される校長先生方におかれましては、東京都の中学校教育の発展・充実のためにご尽力くださり誠にありがとうございました。心から敬意と感謝を申し上げます。ご勇退される先生方の中には、再任用として引き続き学校経営に当たられる先生方もいらっしゃいます。くれぐれもお体に気を付け、ご活躍されることをお祈り申し上げます。私自身も退職年度に会長という大役を仰せつかり、1年間自分なりに努力してまいりました。十分な働きができなかった面もありますが、役員や会員の皆様方にお力添えをいただき、ここまでたどり着くことができました。心から感謝申し上げます。新役員・理事が承認される4月26日の総会まで、引き続きよろしくお願いたします。

2 当面の課題

(1) 都立高等学校入学者選抜関係

今年度の入学者選抜の改革は、中学校の進路指導にも影響を及ぼす可能性があると考えています。受験資格の緩和については、他県からの受験者の増加数などを注視していく必要があると思います。また、インフルエンザ等に対する追検査では、制度利用者数とその結果などを把握し、次年度の進路指導の参考にする必要があると思います。今後、進路対策委員会の先生方にもご協力いただきながら、本会として情報収集を進め、次年度の進路指導に役立てていきたいと思っています。

また、例年同様に願書出願時における提出書類のミス等につきましても、今年度の状況を把握し、書類の記述内容や提出上のミスを共有し、極力減らす努力を続けていきたいと思っています。各地区の進路対策委員の先生方を中心に啓発していきたいと思っています。

(2) 人事異動について

2月28日に、各地区で教員の異動内示が行われました。今後、新規採用教員、期限付任用教員等の内示と進んでいきます。今年度の教員採用試験は、例年より倍率が低かったことで、新規採用教員の力量が心配される場所でもあります。また、過去にあったように新規採用教員の未配置などが無いよう、異動に関する課題や新規採用教員の配置の状況等を把握していきたいと考えています。

(3) 教員以外のスタッフの配置状況について

今年度の教育庁人事部との連絡会で、部活動指導員とスクールサポートスタッフの配置が予算化されるという説明がありました。実際の地区ごとの配置状況を本会としても把握し、次年度の予算要求につなげられればと思っています。特に部活動指導員については都立高校に手厚く、中学校では人件費負担が国・都・各自治体がそれぞれ1/3ずつとなっており、自治体間格差が生じる恐れがあります。こうした視点から来年度は、これらの人的配置の状況について把握する必要があると思っています。

(4) 教員の持ち時数の上限にする取組について

教育庁人事部では、教員以外の人的配置を行い、教員が本来業務に充てる時間を増やす方向で予算化を進めています。このことは、働き方改革の視点から、中学校にとって一步前進と捉えることもできますが、根本的な解決にはならないように感じています。高等学校と同等までに至らなくとも、せめて担任が毎日、学級事務に専念できる時間を確保することが、生徒の自死やいじめ・不登校の防止につながると思います。人事部との連絡会では、教員の持ち時数の軽減は、数千人の教員増が必要となるため実現は難しいとの説明でしたが、担任の学級事務のための時間確保に必要な教員増加数のシミュレーションなどを行い、数値的な根拠に基づいた要望が必要かと思っています。

3 連絡・報告事項

(1) 指導部との教育連絡会

今年度は、第3回指導部との教育連絡会を都公立小学校校長会と合同開催という形式で行いました。この方式はいかがでしたでしょうか。後日、小学校の種村会長と連絡会の進め方について意見交換を行いました。小・中とも、連絡会の時間が限られており内容の深まりに課題があったように感じましたが、小学校長会との事前協議により小中共通の課題に絞ったテーマで協議することは可能だろうという結論に達しました。懇談会は盛り上がり内容も充実していました。こうした成果と課題を踏まえ、働き方改革の視点でも会議回数の削減もでき、次年度も小中合同の形式で連絡会をすすめてはどうかと一致しました。

(2) 平成30年度の東京都中学校長会定期総会に向けて

平成30年4月26日（木）に「たましんRISURUホール」にて定期総会が行われます。立川市を中心に第10ブロックの先生方にご協力をいただき、準備を進めているところです。2月27日（火）には拡大実行委員会を開催し、総会会場および歓送会会場となるホテル日航立川の下見を行いました。第10ブロックの先生方が総力を挙げて準備を進めてくださっていることに感謝しています。本会としても大会準備を支援していきたいと思います。特に、総務部の先生方には大会運営のノウハウを、教育対策部の先生方には研究発表を、会計部の先生方には顕彰でのご尽力いただくこととなります。これから大会まで、わずかな日数となりました。メール等を駆使した効率的な会議運営と連携を深め、確実な準備を行うようお願いいたします。また、各地区におかれましては、すべての会員が出席するよう、呼びかけにご協力ください。よろしくお願ひします。

(3) 学校における児童・生徒の自殺対策の取組及び東京都教育委員会からの子供たちへのメッセージ

東京都教育委員会では、子供たちの自殺防止に向けた取り組みの一環として、6項目の重点目標を定め、指導用のDVDを作成しました。間も無く各校に配布される予定です。合わせて東京都教育委員会のホームページもご活用下さい。

東京都教育委員会ホームページ

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/press_release/2018/release20180222_02.html